

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2002-524748 (P2002-524748A)
 【公表日】平成 14 年 8 月 6 日 (2002.8.6)
 【出願番号】特願 2000-569258 (P2000-569258)
 【国際特許分類】
 G 0 1 S 5/14 (2006.01)
 【F I】
 G 0 1 S 5/14

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 27 日 (2006.11.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 組の衛星から送信された 1 組の信号を使用して位置特定を行う方法において、

(a) 移動体無線電話機で粗サーチデータを記憶するステップと、

(b) 前記 1 組の衛星からの各衛星に対する前記粗サーチデータについて粗サーチを行うステップと、

(c) 微サーチデータを受信するステップと、

(d) 前記微サーチデータについて 1 組の微サーチを行い、各微サーチは前記微サーチデータの異なる時間セグメントにおいて行われるステップと、

(d 1) ローテータを使用して、ドップラー変位を補正するステップと、

(e) 送信によって外部位置に結果を報告するステップとを含む方法。

【請求項 2】 前記粗サーチは低分解能により行われ、前記微サーチは高分解能により行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記微サーチは前記粗サーチ結果に対応するオフセットを中心としたウィンドウを通して行なわれる請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】 前記各微サーチと各粗サーチは、10ms よりも長い持続期間に対応するサンプル持続期間に対して行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】 各粗サーチは前記粗サーチデータの実質的に同一部分に対して行われる請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】 前記微サーチデータは、処理した後であるが、前記微サーチが完了する前に削除される請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】 前記微サーチは前記各衛星に対して行われる請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】 前記低分解能はチップ×4 もしくはそれより低く、前記高分解能はチップ×8 もしくはそれより高い請求項 2 記載の方法。

【請求項 9】 前記低分解能はチップ×2 もしくはそれより低く、前記高分解能はチップ×4 もしくはそれより高い請求項 2 記載の方法。

【請求項 10】 前記異なる時間セグメントはオーバーラップしている請求項 1 記載の方法。

【請求項 11】 1 組の衛星から送信される 1 組の信号を使用してワイヤレス通信システムで位置特定を行う方法において、

(a) 移動体無線電話機で約 18ms の低分解能サンプルを収集し、サンプルを記憶する

ステップと、

- (a 1) ローテータを使用して、ドップラー変位を補正するステップと、
- (b) 前記低分解能サンプルに対して 1 組の粗サーチするステップと、
- (c) 前記 1 組の粗サーチに基づいて捕捉コードを計算するステップと、
- (d) 高分解能サンプルの収集を開始するステップと、
- (e) 前記高分解能サンプルにおいて 1 組の微サーチを行うステップと、
- (f) 高分解能サンプルの収集を終了するステップとを含む方法。

【請求項 1 2】 ステップ (e) は、

- (e . 1) サンプリングクロックの位相を調整するステップと、
- (e . 2) 1 衛星からの信号に対して微サーチを行うステップとを繰り返し行うことからなる請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 3】 前記低分解能サンプルはチップ × 2 サンプルである請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 4】 前記高分解能サンプルはチップ × 8 サンプルである請求項 1 1 記載の方法。

【請求項 1 5】 前記高分解能サンプルに基づく位置特定情報を含むリバースリンクフレームを基地局に送信するステップをさらに含む請求項 1 1 記載の方法。